



お宝発見！ 七北田散歩

七北田・市名坂のはじまり

伊達政宗公の時代にこれまでの山道に代わり、仙台城下町の北目町を始まりとして北に通じる街道がつけられました。

街道筋に七北田宿ができたのが1623年(元和9年)です。遅れて新町市名坂が1660年(万治3年)にでき、上町(七北田村)と下町(市名坂村)と呼ばれていました。

宿場は北南に約1kmあり、宿場の出入口には治安のために丁切根と呼ばれる木戸が設置されていました。開宿してから149年後の家数は、七北田村に96軒、市名坂村には70軒ありました。七北田・市名坂の両地区には宿場を守る検断と世話役の肝入りという人が各一人置かれました。



仙台領奥州街道絵図(七北田宿)

(江戸時代中期作)

所蔵/仙台市博物館

製作: 泉区中央市民センター
 協力: 地域いきいきプロジェクト(泉区まちづくり推進部)
 令和4年度泉区中央市民センター主催事業
 「いずみ探訪—地域案内人養成講座」受講生有志
 /七北田探検団 代表 小林眞勝氏
 /「地元学応援団」主宰 佐々木伸氏
 事務局: 仙台市泉区中央市民センター TEL022-372-8101
 〒981-3117 仙台市泉区市名坂字東裏53-1



【泉・ふるさと生活ギャラリー】
 泉区中央市民センターには江戸時代から昭和30年代頃にかけて泉区内で実際に使用されていた歴史・民俗資料の展示ギャラリーがあります。
 <利用時間>
 9:00~17:00
 (休館日除く)

11 ぜんしやうじ 善正寺
 10 いしどめ 石留神社
 9 ふたはしら 二柱神社
 8 仙台鉄道 七北田駅跡
 7 じっそうじ 寺坂吉右衛門の墓
 6 びこうそうあと 備荒倉跡
 5 ゆどのさんまい 湯殿山参りの碑(庄司家)
 4 えんどう 遠藤村長碑(七北田小)
 3 じやうまんじ 浄満寺
 2 ごぜんすい おのけ 御膳水(小野家)
 1 めいじてんのうぎやうこう さくらいけ 明治天皇行幸(櫻井家)

七北田宿開設400年記念の案内板
 丁切根 南側の出入口
 丁切根 北側の出入口

泉中央(四)
 泉ヶ岳通
 すいせん通り
 奥州街道
 泉七北田郵便局
 泉七北田小学校
 七北田中学校
 市名坂小学校
 市名坂
 本屋敷
 セブンイレブン 泉堂林店
 みやぎ生協 市名坂店
 いずみくちやうおう 泉区中央市民センター
 ミニストップ 泉七北田店
 七十七銀行 泉支店
 ファミリーマート 泉七北田店
 泉交番
 七北田川
 七北田公園 野球場
 仙台スタジアム
 仙台鉄道軌道跡

地理院地図
 出典: 地理院地図 Vector

2023年3月発行
 2023年8月改訂

七北田あれこれ いまむかし

① 櫻井家 (明治天皇行幸) ※非公開

明治天皇は、1872年(明治5年)から1885年(明治18年)にかけて、全国各地を巡幸(天皇が皇居を出て複数の場所へ行くこと)された。ここ七北田には1876年(明治9年)に來られ、櫻井家の二階でお休みされた。その時に使われた品々は今でも櫻井家に大切に保存されている。



また行幸碑も建てられている。

1881年(明治14年)には市名坂でお休みになり、その記録が善正寺の行幸碑に書かれている。

② 小野家 (御膳水) ※非公開

明治天皇は行幸のとき、七北田では櫻井家でお休みされた。そのときの随行(目上の人のおともをし、付き従っていくこと)には、岩倉具視、大久保利通、木戸孝允など当時明治政府で活躍した有名な人がいた。

お休みされた天皇にお出しするお茶等に使用する御膳水は小野家の井戸水から差し上げられたものだった。



井戸があったことを伝える碑 ▲

③ 浄満寺

1596年(慶長元年)東本願寺教如上人の法弟長念が現在地に建てた。本尊の阿彌陀如来像は鎌倉時代の作と伝えられる。



この寺では寺子屋が開かれていたので1858年(安政5年)に建立された筆臺がある。2023年(令和5年)4月3日には奥州街道七北田宿開宿400年記念碑が建てられた。



④ 遠藤村長を讃える碑

遠藤永治郎は4代目村長として明治から大正の17年間村政の発展に尽くした。在任期間中は戦争、凶作、水害が起こり、村の経済が悪化し、村民の生活は苦しくなったが、稲作の改良による増収や養蚕奨励など村の財政確立のため力を尽くした。また、杉の苗を46万7千本植え、七北田中学校建設のためにその杉を伐採して資金として校舎を完成させた。



碑は七北田小学校敷地内にある。

うわまち 上町



⑤ 庄司家 (湯殿山参りの碑) ※非公開

七北田、市名坂の人たちの中には古くから出羽三山参りの集まりがあり、月に一回出羽三山の掛け軸を掛け、お祈りや飲食をした。



七北田の庄司家は伊達藩の時代から人集めのリーダーをしていた家である。庄司家には33回のお参りを記念した碑があり、その年号「1817年(文化14年)」が刻まれている。お参りの時は出羽三山から案内人が来て道中、旅のお世話をした。

⑥ 備荒倉跡 (児遊の杜) ※非公開

備荒倉は凶作や災害に備えるための倉である。1935年(昭和10年)に村内には七つの郷倉が設置された。昭和天皇の御下賜金(金一封)をいただいて建設したので倉には銅製の菊の紋章がつけられた。

1950年(昭和25年)頃まで使用され、仙台市児遊の杜開館に伴い、その場所にあった備荒倉は2002年(平成14年)に解体された。

現在は遺構の一部が泉・ふるさと生活ギャラリーに展示されている。



⑦ 実相寺

七北田小学校となりの実相寺には「忠臣蔵」でおなじみの「寺坂吉右衛門」のお墓がある。「忠臣蔵」は江戸時代1702年(元禄15年)、殿様の無念を47人の家来が晴らした有名な出来事・事件だが寺坂吉右衛門はその四十七士のひとりである。

彼はその後ただ一人生き残ったことからお芝居などにも登場する大変有名な人である。どうして彼だけ生き残ったのかな？

寺坂吉右衛門信行の墓

文殊堂脇に建つ2基の石碑のうち、左側の「理海慈尊」と刻まれている石が、寺坂吉右衛門の墓石と伝えられている。赤穂浪士の中で身分が低かった吉右衛門は、泉岳寺へ引揚げの途中に大石内蔵助の命を受け、同志と別れて湯殿山(遠野内匠頭長矩夫人)や瓜島の遠野本家への報告を行った。一年後自決したが許されて仏門に入り、理海慈尊と名を改め、亡君や同志の菩提を弔うべく誦經を巡った。晩年この地で手習い師匠として余生を送ったと伝えられる。封入後40年の寛保2年(1742)死亡した時、遺品を整理してはじめて寺坂吉右衛門であったことが分かり、かつての寺子180人の手により、ねんころに葬られたという。右側の碑は仙台藩の儒学者伊田光則の撰文による顕彰碑で、天保14年(1843)に建てられた。

平成26年3月 仙台市教育委員会

⑧ 仙台鉄道七北田駅跡 (開業100年)

~七北田に「仙台鉄道」が走っていた!~

1922年(大正11年)10月6日通町~八乙女駅間6.8kmが開通。八乙女~七北田駅間0.9kmは1923年(大正12年)4月26日に開通。「仙台鉄道」(旧仙台北海道)別名「軌道っこ」「軽便っこ」と呼ばれた。

不況、物価の高騰と資金難で敷設に苦労した。貨物は仙北方面から燃料の垂炭等が仙台へ、仙台からは生活用品等が仙北方面へ運ばれた。王城寺原への多くの兵隊の輸送等の役割があった。戦後は買い出し客で超満員の状態になったこともあった。台原の坂道では、登りきれずに乗客が列車から降りて後ろから押すこともあった。戦後の連続する台風によって橋梁・路盤の被害を受け、ほとんどがバス輸送に切り替わった。



仙台北道山ノ寺停留所

路線図	(通町)	北仙台駅	東照宮駅	八乙女駅	七北田駅	山ノ寺駅	陸前大沢駅	黒川小野駅	富谷駅	志戸田駅	吉岡駅	大童駅	本衛町駅	王城寺原駅	加美一ノ関駅	四釜駅	鳴瀬川駅	加美中新田駅	中新田駅
-----	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-----	------	-----	-----	------	-------	--------	-----	------	--------	------

※1937年(昭和12年)に始発駅が通町駅から北仙台駅に変わった。

⑨ 二柱神社

かつて七北田修林壇の地にあり「仁和多利大権現」と呼ばれていた。伊達政宗の奥州街道整備に伴い、1662年(寛文2年)に現在地に移された。祭神をイザナギ・イザナミの二柱とし、明治初期に「二柱神社」と改称した。境内には、「雷神社」や「山神」「馬頭観音」をはじめ石塔18基が祀られている。



⑩ 石留神社

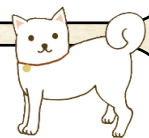
沼田備前という人が1619年(元和5年)につくった。備前が七北田川をさかのぼる石を祀ったとも、武烈天皇を祀ったとも、神が川を渡る際に石につまずき転倒、怒ってここから下流には石が流れないようにしたともいう。

備前の子孫は、江戸時代を通じて七北田の検断(街道の荷物輸送を担い、宿場町の管理を行う人)を務めた。



したまち 下町

⑪ 善正寺



記念碑によれば、1873年(明治6年)7月18日七北田小学校が開校したと記録がある。鎌倉時代に天台宗栄光院として建立され、善正寺と名付けられたのは1635年(寛永12年)である。善正寺は当初、市名坂坂下にあったが、その後南西に移転、1636年(寛永13年)現在の地に再移転した。1924年(大正13年)の火災により本堂を焼失したが修復を重ね、新本堂は2000年(平成12年)にできた。本尊は阿彌陀如来、山門は2019年(平成31年)に完成した。

